

**第9回静岡国際オペラコンクールが、10月28日から11月5日までの、アクトシティ浜松大ホールで開催されます。**

有名な「オペラ」ってなんだろう？よく耳にするオペラの曲は、サッカー選手の中田英寿さんが日本に広めた応援歌でしょうか。そのオリジナルは「アイダ」というオペラの中で、戦争に勝利し、意気揚々と帰国するときに流れる「凱進行進曲」です。サッカー好きの生徒の皆さんは、スタジアムで一度は聞いたことがあるでしょう。中学2年生の鑑賞教材になっているので、授業でも聴いたと思います。

## コンクール 予選は学生無料！

コンクールの日程は、下の表のようになっています。オペラのチケットって、とっても高いんです。6月21日にアクトシティ浜松で上演された「ラ・ボエーム」の一番高い席は24,000円でした。でも、このコンクールの予選では、皆さんのような中高生はなんと無料です！

	日 程	開場/開演	中高生料金
第1次予選	10月28日(土)、29日(日)、30日(月)	13:00/13:30	無料！
第2次予選	11月1日(水)、2日(木)	13:00/13:30	無料！
本選	11月5日(日)	12:45/13:30	3・4階自由席 500円

(本選は、1階の指定席もあります。ちなみに3,000円です。本選後の表彰式は誰でも無料です。)

### オペラ豆知識 その2「掛け声」

「ブラボー！」最近、ちょっと前に、某サッカー選手がやたらに「ブラボー、ブラボー」言ってきましたが、やたらに使っていい言葉ではないので、ちょっと解説します。

演奏がすばらしいときには拍手をしたり、スタンディングオベーション(立ち上がって拍手すること)をしたりする光景を見かけます。そのときの掛け声が「ブラボー」です。正確には、「ブラーヴォ」と、「ラ」アクセントがあります。「ボー」を大きく伸ばすと「ブーイング」のように聞こえてしまうので、なかなか大変なのです。

もう少し細かく言うと、男の人に「ブラーヴォ」。女の人には「ブラーヴァ」、複数のときは「ブラーヴィ」です。掛け声のタイミングがなかなか難しく、変なタイミングで叫んで、良い演奏の印象を崩してしまう可能性もあるので、通の人に任せておくのが無難かもしれません。

コンサートやオペラで、観客が声を出す事ができるのは、演奏後のみなのです。しかし、コロナ禍で、このような行為は禁止されていました。しかし、ようやく掛け声をかけることができるようになりました。サッカーでも、野球でも、声出し応援が解禁されています。日常が戻りつつありますね。

次回もお楽しみに！